

## 請願

市民が市に意見や要望を述べること。提出する場合は、1名以上の議員の紹介が必要となります。

1件の請願が提出され、総務・建設産業・文教・保健福祉常任委員会において審査されました。採決の結果、項目③④については採択、それ以外は不採択となりました。

### 市民のいのちとくらしをまもる請願の件

#### 【請願項目】

- ①国民健康保険料を引き下げること。
- ②保育所・幼稚園等の待機児・保留児解消のため、公立保育所・幼稚園を存続・活用すること。
- ③廃止されたバス路線をはじめ、交通不便地域にバスをすみやかに運行すること。
- ④出張所の窓口業務をすみやかに再開すること。
- ⑤八尾市立中学校において全員で食べる給食を実施すること。
- ⑥八尾市立小・中学校の体育館にエアコンを設置すること。

## 意見書

市の権限だけでは実現できないことについて市議会が国や都道府県に意見や希望を提出する文書のこと。

1件の意見書を可決し、関係各大臣及び国会に送付しました。

### 高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書



地方自治体や民間事業者と連携し、総合的な事故防止策としての高齢運転者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を進めるため、条件付き運転免許の導入や、免許の自主返納時に公共交通等の割引制度の支援等を求める意見書を可決した。

# TOPICS

## 市民の声を八尾の未来に 総合計画を調査する特別委員会を設置

現在、八尾市は令和3年からスタートする第6次総合計画基本構想・基本計画の策定が進められています。市議会では平成29年12月定例会に「八尾市総合計画策定条例制定の件」を議決し、基本計画についても議決を行っていくこととなりました。今後、八尾市が目指すべきまちづくりの方向性がどのようなものなのか。すべての市民にとってサービス向上となる計画になっているのかどうかをこれからしっかり調査します。



我々8名で調査に臨みます。

## 命を守る ゲートキーパー養成講座を受講



八尾市議会では、平成31年3月に「八尾市自殺対策推進計画 ～ほっとかれへん 自殺予防はみんなの思い～」が策定されたことを受け、市議会議員を対象とした「ゲートキーパー養成講座」を受講しました。この研修を受講することで、一市民として、周りの人の異変に気づき、自殺の危険性の高い人の早期発見、早期対応につなげるだけでなく、個々の議員活動の中で、市民や地域組織に周知・啓発を進めていきます。



ゲートキーパー役、相談者役になりきりロールプレイを行った。

### ゲートキーパーとは

自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができる人のことで、言わば「命の門番」とも位置付けられる人のことです。

(厚生労働省HPより)



保健師の方から説明を受けた。